

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・写真 GT
山行番	NO. 1898
日時	2020/12/28(月)～29日(火)
山域	後立山・唐松岳(2696m)
コース	28日＝八方14:10－八方池山荘(泊)15:00 29日＝朝食6:00－山荘発6:40－八方池－丸山－唐松山荘10:30－最高到達点(2666m)11:00－八方池山荘13:50
標高差	上り 八方池山荘約1840m～唐松岳2696m＝約856m 下り 同上
快適度	5(5段階評価)＝藪はない
参加者	後藤、加藤＝2名

登頂、あと36m

ここ数年、年末の山は、2019年＝空木岳・池山尾根(意欲減・2700mまで)、2018年＝甲斐駒・黒戸尾根(登頂)、2017年＝甲斐駒(悪天候・駒津峰まで)、2016年＝仙丈ヶ岳・小仙丈尾根(悪天候・2660mまで)、2015年＝甲斐駒・日向八丁尾根(登頂)、2014年＝仙丈ヶ岳・地蔵尾根(登頂)だった。

6山＝3登頂、3撤退。撤退は悪天候2、意欲減・1。だが、しかし、ここ数年、明らかに加齢による力不足が目立つ。



八方ゲレンデ



キャビン駅で会った方(自称東大卒)

12月に入っても、年末の山は、何処にするか中々決まらなかった。何故か。そもそも既にテント泊の山は出来ない。宿泊登山の場合、行けるのは、営業小屋か避難小屋利用の山だけ。

しかし、冬はやっている小屋は少ない。しかも、今年はコロナ禍で営業しない小屋が多い。最終的に八方尾根～唐松岳に決まった。八ヶ岳など少雪の山選択もあったが、やっぱり少雪の山はつまらない。冬は雪があってなんぼである。八ヶ岳などは、今後、厳冬期に上ればいい。

12月28日、低気圧通過で早くも山はガスだった。午後、八方からゴンドラに乗る。山荘は遅くとも15時に乗るように指示した。

しかし、念のためゴンドラ会社に確認したら、最上部のグレートクワッドリフトの最終は15:20という。八方からゴンドラで、最終リフトまで20分は掛かるので15時では、乗り遅れる可能性があった。再度、山荘に確認すると15時、10分前に乗ってくれといった。

ったく～、最初からそのように指示してくれと思った。その10分差は大きい。最悪、最上部を歩く覚悟だったが、幸い何とか間に合った。

ゴンドラ・リフト代金は高い。往復2980円。切符売り場にいた、「自称・東大卒」といった兄ニ～も、「ボロ儲けや」と呟いた。他の記録では、ゴンドラ・リフトが未動時、ゲレンデの標高差約1050mを歩く方もいる。立派なものだ。



八方池山荘

八方尾根は、過去、11回上っていた。今回で12回目。全て雪山だった。要するに夏は上ったことがない。一般的に冬山は、12月～3月。雪山は、更に5月まで伸びる。

12回中、冬山は6回、雪山は6回。データを見るに、八方尾根は冬・雪山で上りやすい山となる。理由は、後立山の2700mの山だが、尾根はなだらか、アプローチはなく、ゴンドラ・リフトが利用できる、だろう。

ゴンドラ・リフトを乗り継いで行く。天気は早くも崩れていた。山はガスで覆われ風があった。最後のリフトを降りれば、八方池山荘は目の前。山荘は11000円+暖房費500円。決して安くない。部屋は宿泊者が少なく個室だった。入らなかったが風呂もある。ま、年配者には有難い存在である。ただ、料理は良くなかった。カラ揚げは、脂がベタベタ。寝具は短くて足が出てしまった。今時、こんな寝具あり??!!

夕食は18時から。時間はあるのでゆっくり過ごす。外は真っ暗で風が唸っている。福岡から来た若い衆と交流。この年末、唐松岳に上るだけでやって来た。電車代は相当掛かるだろう。

明日アタックするが、天気は、この年末、最後のチャンスといった。予報は、明日はこの暮れ唯一の晴れ。ただ登山指数は「C」ランク。

要するに、晴天は下界の予報なのだ。夜半は山荘を揺るがすモーレツな風だった。八方尾根は、兎に角風が強い。富山湾のY字地形に集約された西風がモロに唐松岳に当たる。従って尾根の樹木

は極端に少ない。過去の記録を拾ってみた。

1. 93年12月30日～31日＝後藤・加藤貫・大沼・渡辺保・・・下の樺でテン泊時、テントの天井が風で寝ている顔に当たるくらいだった。翌日も暴風雪で上れなかった。結局、出発すら出来ず11時下山。
2. 96年4月12日＝後藤・加藤・来生・佐田・・・風雪。丸山手前まで。
3. 98年3月14日＝後藤・大根田・高岡・加藤・・・リフト終点でベンチが飛ばされる烈風。すぐ下山。
4. 98年4月11日＝無風・快晴。8名全員登頂。後藤・加藤はスキー滑降。
5. 99年4月9日＝後藤・加藤・奥山美保・・・スキー。猛烈な風、下の樺まで。
6. 01年12月29日＝後藤・加藤・・・スキー。深雪、丸山上まで。



01/12/29 深雪の八方尾根

7. 04年2月1日＝後藤・加藤・長岡・富岡。厳冬期だが3名登頂し、スキーで滑降した。
8. 05年4月9日＝後藤・幾見・加藤・服部・嶋本・羽根田。丸山上までで、後藤のみガラガラ

沢を滑降。

9. 06年3月18日＝後藤・加藤・三浦・神村・・・丸山上までで、3名ガラガラ沢を滑降。三浦、深雪で怪我。
10. 15年3月21日＝後藤・井上弘二郎・・・登頂。深い水溝でスキーにならなかった。唐松沢でボーダーが事故、首骨骨折。ヘリ飛来救助。
11. 15年4月14日＝後藤・小松・浜道・掛橋・・・好天で全員登頂。
12. 16年4月30日～5月1日＝後藤・勝又・小松・・・往復ホワイト・アウトで疑似遭難。唐松山荘まで。(唐松山荘泊)
13. 20年12月29日＝後藤・加藤・・・爆風で頂上まで36mだった。



2004/2/1

過去、13回で強風・烈風・爆風で撤退が6回ある。2回に1回は風である。八方尾根は、侮れない山だ。印象的だったのは、98年3月で、リフト終点でパイプ製のベンチが烈風で飛ばされたのには驚いた。

山荘の朝食は6:00。6:45出発。天気は良く、五竜が見えた。夜半のモーレツな風は止んだ。ワカンにはザックに入れ、アイゼンで出発。

雪は風で飛ばされラッセルはない。ただ、雪は全く締まっていないでフカフカだった。八方池までひと上り。石神井ケルンの脇にテントが二つあった。昨夜はさぞかし大変であっただろう。もう雪の中でテント泊は出来なくなった。気になるのはトイレだが、どうしたか??

下の樺にテントが二つ。若い衆が出発準備をしていた。二人パーティーだがテントは別々。一緒に寒くないと思うが・・・。

下の樺上の急登で4～5人の列が出来ていた。北斜面で吹き溜まりなのでラッセルだった。先頭の若い衆はワカンだった。乗っ越せば快適な尾根になり上の樺に導かれる。上の樺の上りも北側で雪がフンワリ積りラッセルがあった。

若い衆が2名先行しオジサンが2名続いていた。しかし、結局、全員やる気がなくなり、我がKがトップに立った。ったく～、70歳以上はラッセル免除じゃね～のか！！（`艸`）

上に出れば、再び快適になる。どこまでもキレイな白い尾根が続いている。天気も安定していた。



2004/2/1 丸山上

このままなら上れる可能性が大きい。期待は膨らんだ。しかし、問題は風だ。稜線の風はどうだろうか??丸山上でストックからピッケルに変えた。ただ、雪が締まっていないのでピッケルはあまり役に立たない。

尾根から縦走路に出る最後の壁がどうか懸念したが、ロープと網があり全く問題なかった。ただ、縦走路に出て驚いた。稜線はモーレツな風だった。八方尾根は風下で殆ど風がなかった。この差は何だ。

モーレツな風というより、「爆風」だろう。かつて、富士山・槍ヶ岳・飛騨乗鞍岳・同じく八方尾根で爆発的な風を経験した。

冬山の歴史は「風の歴史」でもある。唐松岳の場合、富山湾のY字地形で集約された大気が、モ

口に山脈に当たる。唐松岳からほぼ真西の富山湾まで約40km。明日、Lが通過だが、既にその舌端が届いているのだろう。

長泉で言えば、富士山頂まで約30kmだから富山湾は近いは近い。風は唐松山荘から少し下った、最低コルが一番強かった。風速30mくらいだろうか。「恐怖を感じる風」だった。尾根が広いからまだ良かったが、狭かったら歩けない。

人は風速40mで「飛ばされる」という。有名なのは、冬のマッキンリーで遭難した植村直己だが、一説には「風に飛ばされた」遭難といわれる

先行者が1名頑張っていた。しかし、頂上直下で動かなくなってしまった。我々の標高は2660m。頂上まで「あと36m」だった。そうこうしていたら、後ろから若い衆2名に抜かされた。しかし、この強風だが、何故か雪はフカフカで実に上り難い。



2004/2/1 唐松山荘付近から唐松岳

稜線に出て既に20分。夏なら頂上に立っている時間だった。その時、「無理をすることはない」と思い感じた。若くない。「無理・無茶・無謀」は禁物。それが冬山55年の経験則だった。

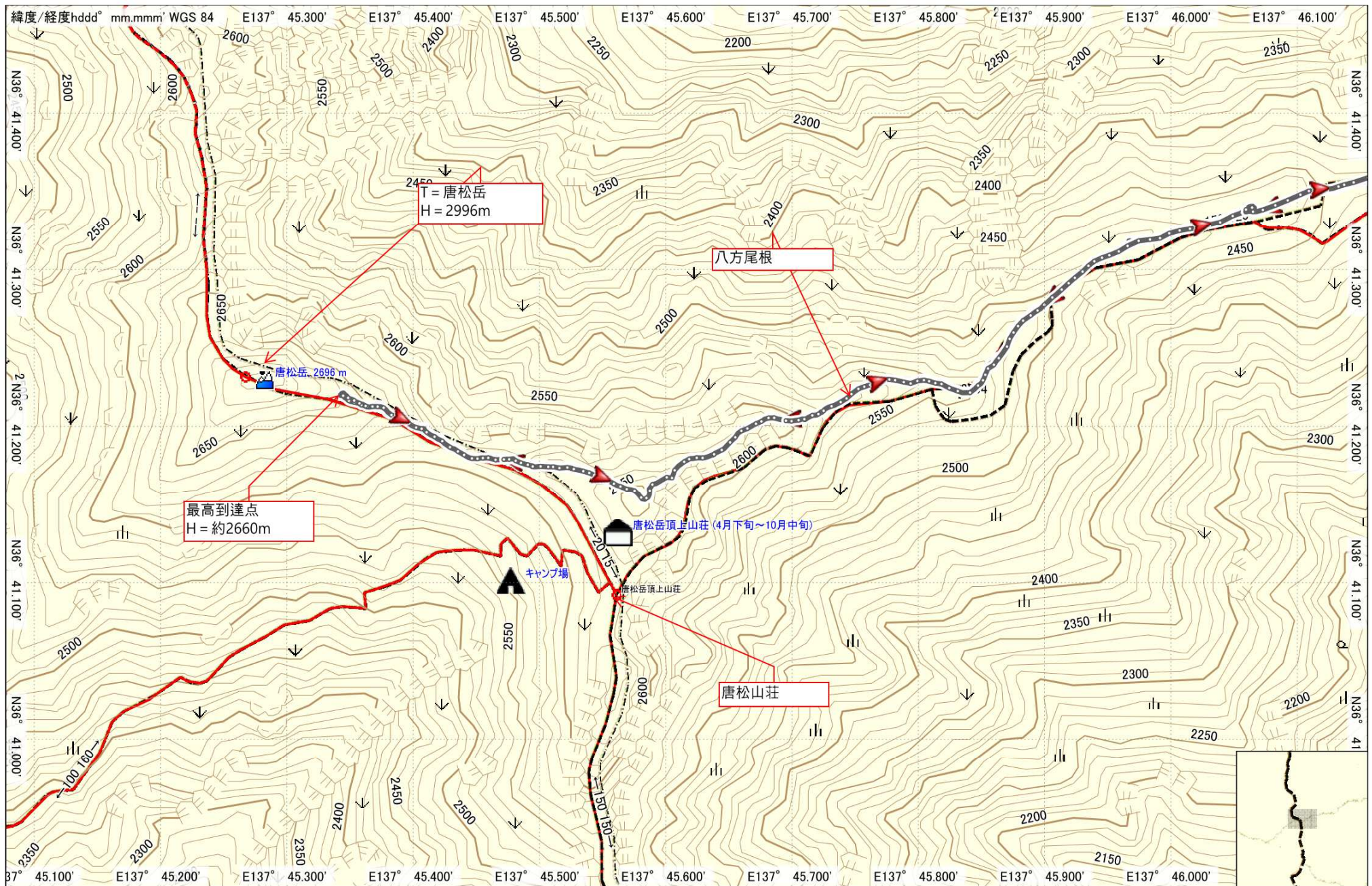
下山後、他の記録を見たらその後、11時以降何人か上っていた。残念で悔しいが、やるだけはやった。悔いはない。最高到達点は、2660m。「頂上、あと36m」。また来年、捲土重来。唐松岳は2月に登頂したこともある。山は天気次第である。

下の樺でテン泊の若い衆と再会。登頂したという。他の方とも話をしたが、登頂は半々だった。八方ケルンまで下ると、山は既にガスっていた。下山は正解だったと感じた。



2020/12/29 13:18 上部は烈風が舞う





Japan Topo 10M Plus V3
 CarvakaMaple Co., Ltd 2014
 Garmin Corporation 1995-2014

2020/12/31 6:29:06

GARMIN